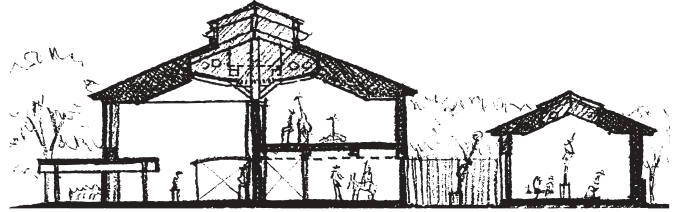




あさご芸術の森美術館  
— 淀井敏夫記念館 —

2022/12  
第71号

美術館だより  
友の会だより



中岡慎太郎「MY FAMILY」(2000年)／黒花崗岩／H250×W600×D250cm  
朝来2001 野外彫刻展 in 多々良木'99(第6回) 大賞作品

家族で多々良木に行った。ダムが立ち上がり、視線はダムの壁にはねかえされる。この、はねかえされた視線を安心して受け止めてくれる形。そういうものがあれば、視線は再び構造物群を今度は楽しみ、それがある多々良木地域全体としての自然、自然と人との関わりへと思いを寄せることになるだろう。1つの大きなひとがたといくつもの小さなひとがたの群れからなるこの作品が、多々良木の自然環境を象徴し、見る者にそれぞれの自然と人との対話を誘ってくれるものになればと思う。(制作意図から引用)



## 第10回

## あさごアートコンペティション

## ASAGO ART COMPETITION 2022

大賞は松岡圭介さんの  
「a tree of elephant」

「第10回あさごアートコンペティション2022」を、9月17日(土)から10月30日(日)まで、美術館2階企画展示室で開催しました。

今回は、多々良木交差点から美術館に向かう市道沿いの「櫛の森公園」に設置する野外作品の公募です。宮城県から沖縄県に至る26都府県の48人から53点のマケット(模型作品)の出品がありました。

展覧会に先立って9月6日(火)には、橋本善八(世田谷美術館副館長)、山崎均(美術評論家・神戸芸術工科大学教授)、織作峰子(写真家・大阪芸術大学教授)、椿野浩二(平面造形作家)の4氏に、市民を代表して藤岡勇市長が加わり、作品のフォルムや素材、「異空間：遊び心・こども心」のテーマに沿っていること、安全性や耐久性を審査のポイントとし、厳正に審査が行われました。その結果、大賞には、松岡圭介さん(宮城県仙台市)の「a tree of elephant」が選ばれました。本作品は、作家が原寸大に制作のち、現地に設置することになっています。優秀作品の展覧会では、入賞入選作品21点を展示しました。

2012年から屋内作品と野外作品を交互に公募するビエンナーレ展として10回にわたって開催してきた「あさごアートコンペティション」は今回を以って終了となりますが、これからも、朝来市出身の著名な芸術家を顕彰し、芸術を志す作家を支援しつつ、アートがあふれる美しいまち「朝来市」として市民が誇りに感じることができるよう、取り組んでまいります。



## 大賞

松岡圭介

「a tree of elephant」

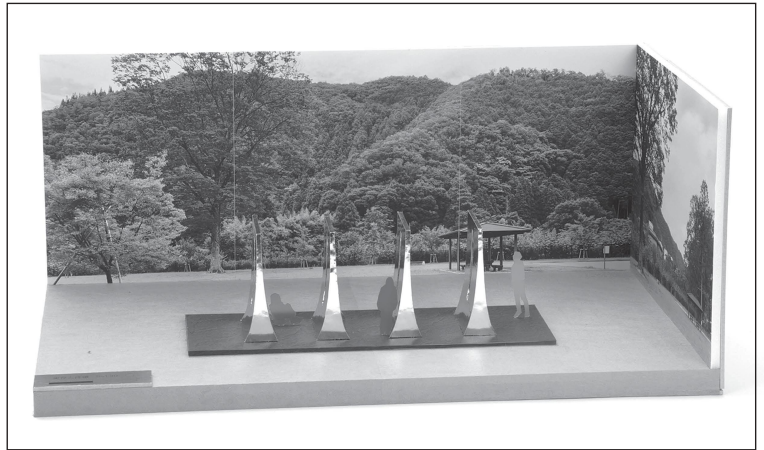
実作品の予定素材とサイズ/  
施釉陶(内部はコンクリート)3×1.8×1.6M

## &lt;松岡圭介さんのコメント&gt;

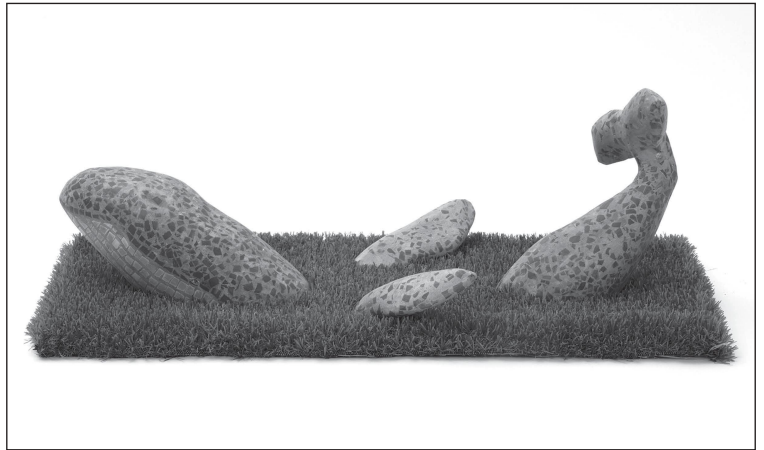
この度の大賞受賞、本当に嬉しく光栄に思っています。2005年の大賞展での受賞から始まったとも言える私の作家活動の中で、個人的にも思い入れが強く、何より美しい自然に囲まれた朝来の地に作品を遺せることに大きな喜びを感じています。本作は今までの私の制作と少し毛色の違う表現を用いていますが、自分なりに応募テーマについて想いを馳せ、幼い娘や息子の顔を眺めながら構想しました。皆様に永く愛される作品となれば幸いです。



優秀賞…萩野弘一「風が吹いている」



優秀賞…平松崇史「実存と拝領」



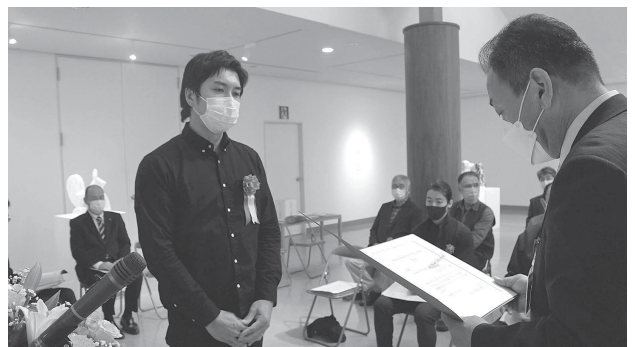
優秀賞…武田充生「鯨夢」

**【第10回あさごアートコンペティション2022入賞・入選者】**

○大賞	賞	a tree of elephant	松岡圭介(宮城県)
○優秀賞	賞	実存と拝領	平松崇史(兵庫県)
		風が吹いている	萩野弘一(新潟県)
		鯨夢	武田充生(東京都)
○スポンサー賞			
但陽信用金庫賞	賞	モクモクモクバ	石原カオル(大阪府)
竹泉賞・特別賞	賞	ヘラジカの工事現場	村中保彦(広島県)
フレッシュあさご賞	賞	free sky - 空間の窓	藤本イサム(兵庫県)
美 方 但 馬 牛 賞	賞	IMAGINE	藤井浩一朗(東京都)
○入選	選	夢枕	平田 茂(三重県)
		Repeated	藤 沢 恵(埼玉県)
		生きる	仲 田 守(千葉県)
		あさごのによるによる	信ヶ原良和(京都府)
		生命の流れ	天乃睦柘彫(和歌山県)
		進化景色(輪になって)	土田 義昌(千葉県)
		境界～脱皮する山～	森 貴也(大分県)
		an image of temari	加 藤 淳(兵庫県)
		光の森	児 玉 士 洋(東京都)
		しかくい雲と雲	久 保 健 史(兵庫県)
		砂の犬/space dog	山 本 容 資(山口県)
		fragments	岡田健太郎(神奈川県)
		Natural Posture「グルグル」	水 本 智 久(京都府)

(賞ごとに受付順)

**第10回あさごアートコンペティション2022の表彰式を、展覧会最終日の10月30日(日)に美術館で開催。**



大賞を受賞した松岡さん



各作家による作品説明



## 第18回

## 全国こども絵画選抜展 2022

## 全国の子どもたちから、多くの力作が寄せられる!

朝来市誕生に合わせてスタートした全国こども絵画選抜展。18回目となる今回は、全国235の小・中学校や絵画教室から6,440点もの作品が寄せられました。子どもたちが様々な思いを巡らせながら、創造力豊かに描かれた作品の数々。その中から、7人の審査員が、描写力、テーマ「花と緑」「ふるさと」に対する考え方やおもしろさなどを考慮しながら、100点の入賞入選作品を選定しました。

11月5日(土)から12月4日(日)まで、あさご芸術の森美術館2階企画展示室で入賞入選作品を展示。来場者からは「それぞれの個性があふれている」「どの絵も生き生きとしている」「こどもらしい絵、芸術家かと思わせる絵、色合いや構図など素晴らしい」などたくさんの感想をいただきました。

また、展覧会最終日の12月4日(日)には、作品に囲まれた会場で、3年ぶりとなる表彰式を開催。80人を超える子どもたちと家族の皆さんが式に臨みました。来年もたくさんの子どもの応募を期待しています。

## ■審査員

牛尾 啓三(彫刻家)

椿野 浩二(平面造形作家)

敏原 敏子(現代美術アーティスト)

内藤 絹子(版画家)

西山まい美(染織家)

初田 隆

(兵庫教育大学名誉教授、行動美術協会会員)

花房 完昇(画家)



ふるさと大賞・最優秀賞 / 「お爺さんの家」  
西森のえる(滋賀県愛荘町立秦荘中学校3年)



花と緑の大賞・最優秀賞 / 「大自然の川に大ジャンプ」  
樋口智子(兵庫県・Atelier cocolabo / 小学校5年)

## 巡回展

●アートホール神戸 / 2023年1月12日(木)~1月17日(火)

●加古川市民ギャラリー / 2023年1月19日(木)~1月24日(火)

※上記会場では会場の都合により30~50点程度の展示となります。※いずれも入場は無料。





兵庫県知事賞「躍動する猫」  
荒山千尋(兵庫県丹波篠山市立西紀中学校2年)



兵庫県知事賞「いえのちかくのやぎにのせてもらったよ」  
井藤 環(兵庫県福崎町立田原小学校1年)



朝来市長賞「マンホールからのびる花」  
壽賀心優(兵庫県上郡町立上郡中学校3年)



朝来市長賞「トウモロコシ畑と私」  
廣川莉奈(兵庫県神戸市立舞多間小学校2年)



審査会場の朝来体育館いっばいに並べられた応募作品



3年ぶりの表彰式に参加した子どもたち

**【朝来市内の入賞・入選者】** (順不同)

- |                                    |                       |
|------------------------------------|-----------------------|
| ◆(一財)兵庫県学校厚生会理事長賞<br>清水 惺葉/枚田小学校6年 | ◆入 選<br>東垣 寿音/生野中学校2年 |
| ◆審査員特別賞(椿野賞)<br>森山 翔瑠/大蔵小学校1年      | 森山 權瑠/大蔵小学校5年         |
| ◆優秀賞<br>白井 綺梅/朝来中学校3年              | 谷口 真衣/山口小学校5年         |
|                                    | 足立 雪那/大蔵小学校3年         |
|                                    | 馬場崎 匠/大蔵小学校3年         |
|                                    | 鱈 璃桜/大蔵小学校1年          |

**【森はな賞】**

朝来市では朝来市出身の児童文学作家・森はな(1909-1989年)の文学普及を推進しています。「全国子ども絵画選抜展」をきっかけに、人や自然、ふるさとをいとおしむ心であふれた森はな作品に触れていただくことを期待して、「森はな賞」を設けています。



開催中の  
企画展

## アート2023干支展 卯

〈会期〉2023年1月9日(月・祝)まで 〈会場〉2階企画展示室

1999年度からスタートし、今や美術館の年末年始の風物詩となった「アート干支展」。今回は2023年の干支「卯」をテーマに、32人と1団体の様々なジャンルの作家たちが制作した作品を展示しています。

## ■立体

坂口雅彦、佐々木紀政、杉本たけ子、田中喜典、寺田ひかり、花房さくら、藤本イサム、松尾 哲、松田京子、松田政斗、吉岡武徳

## ■平面

生野学園、宇都宮 舞、宇都宮 遼、大塚温子、貝塚理佐、上地拝碩、コウノ真理、小西美佐子、佐々木 博、島田真衣、書道家 華汀、高砂京子、高松富士子、椿野浩二、椿野 彩、内藤範子、南光和玄、藤原 護、藤原洋次郎、Pen<sup>2</sup>、松尾あい子、松本知佳

【出展者】(敬称略・50音順)

開催中の  
企画展

## 2023 干支絵手紙コンクール作品展

〈会期〉2023年1月9日(月・祝)まで 〈会場〉2階企画展示室

2023年の干支「卯」をテーマに絵手紙(はがき)を募集したところ、北海道から福岡県に至る16道府県の117人から186点の作品が寄せられ、審査によって入賞・入選42点を選定しました。本展では応募全作品を展示していますが、墨書、版画、貼り絵、水彩、色鉛筆、CGなど表現方法は多種多様で、明るくかわいいイメージの作品が多く、温かなうさぎにあやかった、平和で安心できる、そんな一年の到来を予感させてくれます。



グランプリ・西岡節子さん(姫路市)の作品

【巡回展示】※入賞・入選作品のみ展示します。

- 会期…2023年1月13日(金)～2023年1月29日(日)
- 会場…生野メインホール

開催中の  
企画展

## 鉄道のある風景画展

〈会期〉2023年1月9日(月・祝)まで 〈会場〉1階企画展示室

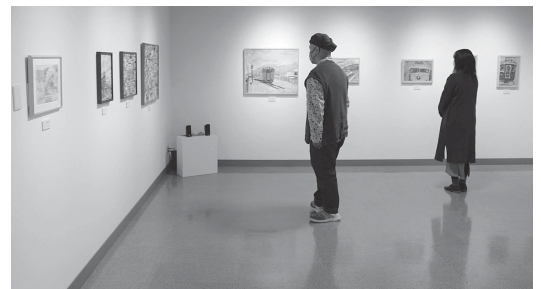
「鉄道のある風景」をテーマにした企画展で、普段何気ない鉄道風景を、作家たちが切り取り、瞬間を描くことにより、ドラマティックで魅力的なワンシーンとして表現されています。播但線や山陰本線を始め、江ノ電や阪急電車など様々な路線の電車作品を展示。さらに「但馬鉄道模型CLUB」や「ふじおミニ鉄道資料館」の協力による鉄道ジオラマや、播但線・山陰本線グッズなども展示。「鉄道の魅力」を存分にお楽しみいただける企画となっています。また最終日にはピアニスト謙元氏による鉄道音楽ライブ(無料)も開催します。

## ■出展作家

松本知佳、岩下慎吾、北 英明、橋本和幸、松浪吉樹、吉田泰昌、あおか、石川佳宗、井筒周作、描き鉄よっちゃん、kokuden\_daisuki、さぼてんこいけ、棚田宜弘、つくし、檜山雄二、びわこまち 209、宗像毅

【鉄道音楽ライブ】

- 2023年1月9日(月・祝) 14時～





募集

～朝来からの風～

## 朝展

応募締め切りは、2023年1月9日(月・祝)(必着)まで

【優秀作品展】

あさご芸術の森美術館

2023年1月28日(土)～3月5日(日)

～朝来からの風～「朝展」2023では、絵画、立体・工芸、書、写真の4部門の作品を募集しています。

## 【～朝来からの風～「朝展」2023 募集要項】

■応募期間…2023年1月9日(月・祝)(必着)まで

■応募資格…国内在住の高校生以上。国籍不問。

■応募点数…1部門につき1点

■出品料…1点につき1,000円(大学生・高校生は500円)

■申込方法…応募期限までに出品申込書に必要事項を記載の上、出品料を添えて、あさご芸術の森美術館、または朝来市芸術文化課(和田山ジュピターホール内)まで持参か郵送してください。

■作品部門

◎絵画

日本画、洋画、デザイン、水墨画などの平面作品。50号(1辺116.7cm)以内。壁面までの奥行きは20cm以内。額装(5cm以内)し、吊り金具とひもを取り付けること。

◎立体・工芸

彫塑、工芸作品。高さ150cm(台座含む)以内で床面積2㎡以内。人力で運搬可能な作品。

◎書

書、篆刻などで全紙以内。額装、枠張り、または軸装のこと。

◎写真

写真作品で縦横合わせて140cm以内。額装またはパネル張り。

※作品規定の詳細は募集要項で確認してください。

■審査員(敬称略)

絵画…椿野浩二(平面造形作家)

立体・工芸…清水圭一(陶芸家)

書…江草幽研(飛雲会副理事長・兵庫県書作家協会運営理事)

写真…柳原 香(二科会写真部会員・兵庫県写真作家協会委員長)

■賞

◎朝展大賞/各部門1点、副賞50,000円

◎朝展準大賞/各部門1点、副賞20,000円

◎朝展奨励賞/若干名、副賞10,000円

◎朝来市議会賞/各部門1点

◎朝来市教育委員会賞/各部門1点

◎朝来市文化協会賞/各部門1点

◎あさご芸術の森美術館友の会賞/若干

◎入 選/各部門20点程度

■展覧会

あさご芸術の森美術館

2023年1月28日(土)～3月5日(日) 午前10時～午後5時

※最終日は表彰式のため午後3時まで。

■募集要項の取り寄せ・問い合わせ…出品には申込書(募集要項)が必要です。

あさご芸術の森美術館のホームページからダウンロードするか、郵送希望の場合は、美術館にご連絡ください。

■郵送先住所

あさご芸術の森美術館

〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739-3

TEL 079-670-4111

朝来市まちづくり協働部芸術文化課

〒669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置877-1

(和田山ジュピターホール内)

■朝来市ホームページ

<http://www.city.asago.hyogo.jp>

# NEWS トピックス

## ASAGO ART VILLAGE

### ASAGO芸術音楽祭 田中良和トラックコンサート

あさご芸術の森美術館野外彫刻庭園のダム下で、7月17日(日)午後4時から、朝来市出身のテノール歌手、田中良和さんのコンサートが行われました。これは毎年恒例のASAGO芸術音楽祭で今年新たな取り組みとして「トラックに乗って音楽の宅配便」と称し行われたものです。当日は雨の予報でしたが、なんとか持ちこたえ、ロックフィルダムをバックに爽やかな歌声が響き渡っていました。



### こども陶芸教室 動物を作ろう

ギャラリー四季彩で、7月24日(日)に、「こども陶芸教室」を開催しました。「動物」をテーマにして粘土をこねながら、平面造形作家の椿野浩二氏、陶芸家の天野あまね氏の指導のもと作品作りに挑戦しました。動物といっても犬や猫だけではなく、魚も鳥もユニコーンやヤマタノオロチも動物です！思いを込めて作り上げた個性あふれる様々な動物は世界に一匹しかいない素敵な作品に仕上がりました。



### アートDE遊ぼう！ 素敵な作品が完成

7月30日(土)と31日(日)の両日、多々良木フォレストリゾートCoCoDeの研修棟で、夏休み恒例のアート体験教室「アートDE遊ぼう」を行いました。会場に準備された様々な材料を使って、芸術講師にアドバイスを受けながら、参加した子どもたちは工作、木工、絵画などの作品を制作しました。時には、家族で力を合わせて制作する姿もあり、夏休みの家族の思い出づくりにもなったようです。



### 組み合わせは自由自在 オリジナルアクセサリー教室

8月6日(土)に、手作りのアクセサリー教室を開催。最初にイヤリングやキーホルダー等、自分が作りたいベースを決めた後は、自分が使いたいパーツを自由に選んで、アクセサリー作家の山木さとみ氏にアドバイスを受けながら、イメージを膨らませました。



ガラスや金属パーツはもちろんの事、鳥の羽根を使った作品など、バラエティーに富んだ個性あるアクセサ

リーに仕上がりました。自分で作ったイヤリングを付けた小さな女の子の満面の笑みと、ちょっと大人な気分の表情はとても満足そうでした。

### 和田山中新任教諭が 美術館で研修

8月23日(火)、和田山中学校の青池教諭が、社会体験の一環として美術館で受付や作品メンテナンスの実習を行いました。実習後、「働くことを見直すことができたし、初心に戻って周囲を見て動くことを再認識しました。様々な職業があるけれど、生徒たちの夢をサポートできる教師になりたい」と話していました。



### チャイルドアート デイキャンプ

8月20日(土)、21日(日)、日本・モンゴル民族博物館とあさご芸術の森美術館が連携し、お互いの館の特色を生かした、アートプログラムを開催しました。

20日(土)は日本・モンゴル民族博物館を訪れ、午前中は、ゲルの中で馬頭琴を弾きながら遊牧民の暮らしを体験。モンゴルクイズにも挑戦しました。午後からは、日本・モンゴル民族博物館職員の指導による羊毛を使った羊の人形作りや、様々な色の花を使ったハーバリウムに挑戦しました。

21日(日)は、日本・モンゴル民族博物館の参加者があさご芸術の森美術



館へ訪れ、午前は平面造形作家の椿野浩二氏と彫刻家の藤本イサム氏の指導によるテーピング石膏を使った立体造形に挑戦しました。

午後からは山本二三展を見学した後、小物作家の今倉晃子氏の指導でフェイクスイーツを使った小物作りを行い、自分や家族へのお土産を作りました。最初はお互い知らない顔で遠慮した感じでしたが、時間が経つにつれ、仲良くなって、芸術体験をととても楽しんでいました。



## 齋藤県知事が 美術館を訪問

8月26日(金)、齋藤元彦兵庫県知事が、あさご芸術の森美術館を訪問し、常設展示の淀井作品や、開催中の「山本二三展」を鑑賞しました。

本展で初公開した山本氏描きおろしの朝来市内鉾山遺産作品や、野坂昭如の同名小説のアニメ映画で、昭和20年の神戸を舞台にした「火垂るの墓」の作品は、特に熱心にご覧いただきました。

兵庫県は、2025年の大阪・関西万博をきっかけにして、県全体をパビリオンに見立て、現地で学び体験できるコンテンツを設けて兵庫県内各地に観光客を呼び込もうとする「ひょうごフィールドパビリオン」を掲げています。その候補地として朝来市では日本ハンザキ研究所、IKUNO STAY(甲社



宅)やあさご芸術の森美術館を視察したものです。美術館は「素晴らしい景色と作品で期待できる」とのコメントがありました。観光による県内の活性化を期待したいですね。

## 山本二三展が入館者数の 最高記録を達成

7月9日(土)から8月30日(火)まで開催した「アニメーション美術の創造者 新・山本二三展」は、当館開館以来の来館者が最高となる11,597人を記録しました。

8月27日(土)には入館者1万人目として家族で訪れた神戸市の谷水さん親子に、山本二三展作品集や額絵、美術館オリジナルグッズなどの記念品を贈呈しました。思いがけないプレゼントに「新聞を見て来たのですが、良い思い出になりました」と話していました。



## 妖怪講談 ～怪・快・会～

8月27日(土)、あさご芸術の森美術館で、謎の講談師・河南堂珍元齋さんによる「妖怪講談～怪・快・会～」を開催しました。これは昨夏、「水木しげるの妖怪とインスパイア展」関連イベントとして予定するも、コロナ禍の影響で急遽中止しましたが、暑い夏に夕涼みを楽しんでもらえるようにと、今



回行ったものです。

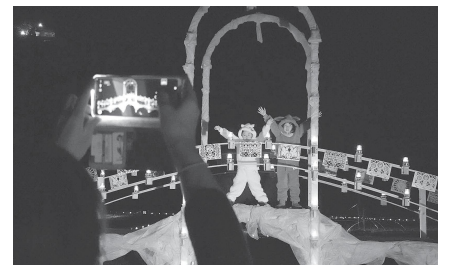
水木しげるの妖怪、小泉八雲やオリジナルの怪談のほか、音で聞く妖怪に参加者に推理してもらい、正解者に妖怪の色紙をプレゼントするなど、楽しく趣向を凝らした内容で、盛り上がりました。

## 風と光のページェント 芸術の森をライトアップ

10月22日(土)と23日(日)の夜、あさご芸術の森美術館と多々良木フォレストリゾートCoCoDeを中心会場として、「ハロウィン」をテーマに、キャンドルなどによるライトアップイベント「風と光のページェント」を開催しました。このイベントは平成28年から毎年行っていましたが、昨年、一昨年はコロナ禍で実施を見送っており、3年ぶりの開催となりました。温もりのあるキャンドルの小径や、野外彫刻には色とりどりの照明を当てて華やかに空間を演出。

今回初出展の芸術文化観光専門職大学制作の現世と死後の世界をつなぐ橋をテーマにした「CORAZON(心臓)」という作品は、写真スポットとして特に賑わっていました。このほか朝来市内のこどもたちが描いたキャンドル絵や美術館友の会の作品も会場を一層華やかに彩っていました。

22日(土)には、NEGIMARON(ネギマロン)のジャズ演奏もあり、訪れた人々はうっとり聞き入っていました。



## あさご芸術の森 アートマーケット

11月6日(日)、あさご芸術の森美術館野外彫刻庭園でアートマーケットを

開催しました。コロナ禍で3年ぶりとなりましたが、アート作品販売、制作体験コーナーのほか、ゲームや食のブースなど、多彩な催しで賑わいました。芸術文化観光専門職大学も初参加。手作りのゲームが子どもたちに大人気でした。



## 時空の森 北川太郎展

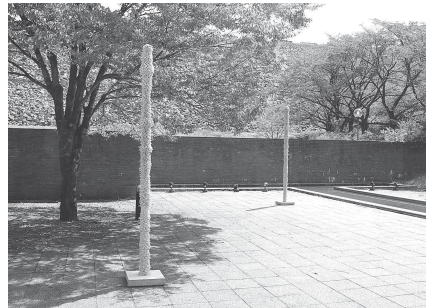
兵庫県新鋭作家シリーズ第2弾として、姫路市在住の彫刻家・北川太郎さんの作品展を、9月17日(土)～10月10日(月・祝)、美術館1階企画展示室で開催しました。

北川さんは、石を積み重ねた「時空

ピラミッド」などを手掛ける石彫作家で、国内外で活躍しています。

今回の企画のうち、屋内の展示は数多くの小作品が並び、楽しげな雰囲気の中にも、作品の集合体と展示空間と光が合わさり、凛とした空気が漂う不思議な空間が生まれました。

また美術館の玄関前には、3体の巨大な造形物が出現。小さな破片を組み合わせ、積み重ねた作品からは、そこに至るまでの時間の経過と、積みあがって生まれる空間、そして今回はあさご「芸術の森」が重なることにより、新たに「時空の森」と呼べる北川ワールドを形成。普段とは違った趣の美術館を楽しむことができました。



## 紙の畑 内藤絹子展

こども絵画選抜展審査員シリーズの第5弾として、「紙の畑 内藤絹子展」を美術館1階企画展示室で、11月5日(土)から12月4日(日)まで開催しました。内藤さんは朝来市在住の版画家。「言葉を線や形として和紙の上に描くのは、畑を耕し、種をまくことに共通している」との思いがこの展覧会のタイトルになりました。

「吸い込まれそうな作品」「リアルな感情が伝わってくる」「離れてみると幻想的で、近くで見ると意思を感じた」など、見る人に様々な印象を与えていました。



募集

# 写真コンテスト 「あさごの小さなフォトグラファー展2023」

## 作品募集

若い世代が、今や身近になっている「写真」で芸術を表現する機会とし、さらには多くの人々に、「あさご芸術の森美術館」で、その豊かな感性に触れてもらうため、小学生から高校生までを対象にした写真コンテスト、「あさごの小さなフォトグラファー展2023」を開催します。素敵な作品をお待ちしています。

▶ 募集テーマ…不問 ▶ 出展料…無料 ▶ 応募締切…2023年2月17日(金)必着

★応募資格…国内在住の小学生～高校生まで

★応募方法…写真と応募用紙に必要事項を記載し、下記に郵送または持参してください。

【郵送】〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739-3 「あさご芸術の森美術館」宛

【持参】「あさご芸術の森美術館」(同上)

※応募用紙は、朝来市のホームページからダウンロードするか、郵送希望の場合は、あさご芸術の森美術館にお問い合わせください。

★規格…サイズはA4(210mm×297mm)又は4つ切りサイズ(254mm×305mm)

※応募用紙に必要事項を記載し、写真の裏面に貼付してください。

★賞…大賞/1点、準大賞/1点、あさご芸術の森美術館賞/1点、入選/20点程度

作品展「あさごの小さなフォトグラファー展2023」

会期…2023年3月11日(土)～5月7日(日)

会場…あさご芸術の森美術館 1階企画展示室



これからの  
企画展

# 井上浩輝・TAKASHI写真展(仮称)

〈会期〉2023年3月11日(土)～5月7日(日) 〈会場〉2階企画展示室

前回コロナ禍で、会期中途中で惜しまれつつも閉会した「井上浩輝展」が新たに形を変え、「自然」が共通の被写体である二人の写真家、井上浩輝とTAKASHIの写真展、大自然をドラマティックにお楽しみいただける企画として帰ってきました。

写真家・井上浩輝は、北海道をはじめ、様々な自然の風景、そこに息づく野生動物の営みや表情など、大自然が織りなす今を撮り続けています。また、写真家・TAKASHIは、季節、気候や時間により日々変化する「富士山」を様々な角度から捉え、表現力やテクニックを駆使して、幻想的且つダイナミックに表現しています。このほか会期中には、2人による写真教室やギャラリートークも予定しています。

募集

## あさご芸術の森美術館友の会会員交流美術展 作品募集!

毎年恒例の「あさご芸術の森美術館友の会会員交流美術展」の作品を募集します。  
あさご芸術の森美術館友の会会員の日ごろの創作活動の成果を披露するとともに、  
相互の交流を図ることを目的に交流美術展を開催します。皆様の作品をお待ちしています。

### ■応募要項

- ◇平面…絵画(日本画・油彩画・アクリル画・水彩画・ミクストメディア・版画・水墨画など)書・デザイン・写真・俳句・短歌などでオリジナルなもの。  
※大きさ: 展示壁面の横幅が一辺120cm以内(額を付けたサイズ)なら複数出品可。上下2段掛け展示可。壁面での展示に限る。
- ◇立体…彫刻・工芸(陶・染織・タペストリー・ガラス・人形・ちぎり絵・木工・竹細工・手芸・編み物・粘土細工ほか)などでオリジナルなもの。生花・盆栽など生物は不可。  
※大きさ: 高さ200cm×幅200cm×奥行200cm以内で、人力で運べるものなら複数出品可。  
※壁面展示の場合は、横幅が一辺120cm以内で、高さは2m以内
- ◇出品料…上記サイズ以内は500円。ただし、直接搬入・搬出ができる出品者で、展示・搬出作業の手伝いが可能な人は無料。  
※作品の損害保険は個人で掛けること。
- ◇出品申し込み…2023年2月5日(日)まで
- ◇搬入…2023年2月16日(休)10:00～16:00/17日(金)10:00～12:00  
※委託搬入の場合は、2月16日(休)必着。作者が元払いで送ること。
- ◇搬出…2023年3月5日(日)16:30～17:00/6日(月)9:00～16:00  
※委託搬出の場合は、搬入時に着払い票を添付すること。

会員交流美術展

会期…2023年2月18日(土)～3月5日(日)

会場…あさご芸術の森美術館 1階企画展示室



※写真は前回の交流美術展

# スケジュール 2022.12 → 2023.3

ASAGO ART VILLAGE

月	日	曜	内 容	対 象	期間・時間など	掲載ページ
12	開催中		<b>アート2023 千支展</b>	一 般	1月9日まで	6
			<b>千支絵手紙コンクール作品展</b>	一 般	1月9日まで	6
			<b>鉄道のある風景画展</b>	一 般	1月9日まで	6
募集中			<b>～朝来からの風～朝展 作品募集</b>	一 般	1月9日まで	7
			<b>あさごの小さなフォトグラファー展2023 作品募集</b>	小中高校生	2月17日まで	10
1	12	木	<b>全国こども絵画選抜展 巡回展(アートホール神戸)</b>	一 般	1月17日まで	4～5
	19	木	<b>全国こども絵画選抜展 巡回展(加古川市民ギャラリー)</b>	一 般	1月24日まで	4～5
	28	土	<b>～朝来からの風～朝展</b>	一 般	3月5日まで	7
2	18	土	<b>あさご芸術の森美術館友の会会員交流美術展</b>	会 員	3月5日まで	11
3	5	日	<b>～朝来からの風～朝展 表彰式</b>	受賞者	午後3時～	7
	11	日	<b>井上浩輝・TAKASHI写真展(仮称)</b>	一 般	5月7日まで	11
		日	<b>あさごの小さなフォトグラファー展2023</b>	一 般	5月7日まで	10

## あさご芸術の森美術館友の会 会員の近況

### ★宇都宮 遼

▶「個展」会期…2023年1月7日(土)～1月22日(日)／場所…アルピーノ銀花ギャラリー(さいたま市大宮)

### ★藤本イサム

▶個展「MINGのミタテ(見立て)」会期…2023年2月11日(土)～2月26日(日)／場所…姫路ルネッサンス・スクエア  
石彫制作を日常とする。現在、出品作品を制作中。

### ★水田博臣

▶「Instagram」water\_and\_mother\_of\_88

今まで抑制していた“自分”解放してます。「人生」を豊かにするものの1つに“アート”があると思います。

『Art』楽しんでますよ～。もちろん「あさご芸術の森」でも♪

### 【年末年始の美術館】

美術館は12月25日(日)から1月5日(木)まで休館します。2023年は1月6日(金)から開館します。



あさご芸術の森美術館

ASAGO ART VILLAGE

〒679-3423 兵庫県朝来市多々良木739-3

TEL(079)670-4111 FAX(079)670-4113

http://www.city.asago.hyogo.jp/

E-mail : art-village@city.asago.lg.jp

